

様式 A 特別活動（谷口/角谷/堀/山本綱）

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	特別活動 (Special Curricular Activity)	単位	
	一般・専門の別・ 学習の分野		授業形態・学期	通年
	対象学生		必修・必履修・ 履修選択・選択の別	
	担当教員・所属系	担任：1-1 谷口（先進科学），1-2 角谷（電気電子システム），1-3 堀（機械システム），1-4 山本綱（電気電子システム） 副担任：1-1 中村ふ（海外展開促進），1-1 新任（海外展開促進），1-2 柴田（先進科学），1-3 パーマー（先進科学），1-4 浅野（情報システム） 学年主任：山口裕（電気電子システム），副主任：山口均（先進科学）		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野			
	学習教育目標との関連			
	技術者教育 プログラムとの関連			
	授業の概要	特別活動はホームルーム活動，学校行事，学生会活動に分類される。週一時間のホームルーム活動においては，学校生活への適応や進路の選択などについての指導を受けながら，人権問題も含め人間としての在り方，生き方を考える。特に1年では，校外教育，性教育講演会や交通安全講習会などの学校行事に取り組むことで，学校・学級生活の円滑化を図る。		
	学習目的	特別活動を通じて，津山高専における学校生活に慣れ，人間性の涵養，自主・自律性と社会性の育成に益する経験を積み，民主的・主体的に行動する態度を養うことを目的とする。		
	到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 目標を持ち主体的に生きる学習・生活態度を確立する。 2. 集団の中での個人の在り方を主体的に考えられるようになる。 3. 集団を単位とした学校行事や学生会活動の意義を理解する。 4. ◎コミュニケーション，合意形成，課題発見の各能力および倫理観の獲得。 		
	履修上の注意	特別活動は，第1学年から第3学年までの各学年30単位時間計90単位時間以上実施する。		
	履修のアドバイス	各学年の課程修了を認定するに当たっては，学業成績のほか特別活動の状況を併せ評価するので，主体的な活動への参加を要する。		
	基礎科目	中学校までの学級活動など		
	関連科目	特別活動（全系2年），すべての教科活動		

授業にかかわる情報		
授業の方法		ホームルーム活動は学級担任の指導・助言のもとに行う。また、毎朝、SHRを実施し、連絡事項を確認する。その過程では個々の学生の生活・学習状況についての相互理解を深め、信頼関係を形成し、家庭との連携などにも配慮する。また、学生会活動などに関しては、学生が学年を越えて協力し、自主的に活動をすすめる。活動内容によっては担任以外の教員からも協力を得る。
授業計画	開講週	内容〔項目〕（指示事項）
	前期 1週 ～ 15週	<p>ホームルーム活動の計画を下記に示す。他の学校行事、学生会活動の計画については『学生生活ガイドブック』を参照すること。学年単位での講演会・行事を行うほか、家庭との連絡のため、保護者懇談会を開催する。一般的な学習・生活指導、交通安全指導などは適宜行う。校内一斉清掃の他、各教室の清掃、日直活動など学級での活動もホームルーム活動に含む。</p> <p>(4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学式と新入生オリエンテーション① ・始業 HR（ガイダンス、クラス委員選出、日直などの職務）① ・新入生歓迎会① ・シラバスに関する指導と学習等目標記録簿に関する指導 （技術者教育プログラムの説明を含む） ・資格関連科目を含む選択科目の履修に関する指導 ・個人面談 ・入学前課題の報告 <p>(5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春季スポーツ大会出場クラス選手選出、弥生祭委員選出など ・春季スポーツ大会② ・学生総会① <p>(6月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期中間試験について ・校外教育② <p>(7月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期末試験について <p>(8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの過ごし方

	後 期	16 ～ 30週	<p>(10月) ・学種等目標記録簿による中間達成度評価 ・秋季スポーツ大会出場クラス選手選出, 保護者懇談会調整など ・秋季スポーツ大会② ・交通安全講習会</p> <p>(11月) ・後期中間試験について</p> <p>(12月) ・冬休みの過ごし方 ・キャリア教育</p> <p>(1月) ・進路説明会 ・性教育講演会</p> <p>(2月) ・学生総会① ・学習等目標記録簿による達成度評価 ・春休みの過ごし方 ・清掃</p>
教科書, 教材等			適宜, 資料を配布する。また映像資料等もできるだけ活用する。
成績評価方法			「特別活動の結果が良好である」との認定は, 実施時間数の5分の4以上出席した者について行う。SHRについては, 10回欠席で特別活動の1単位時間の欠席とする。評価は, ホームルーム活動, 学校行事, 学生会活動などの結果を総合して行い, 「合」「否」で判定する。
受講上のアドバイス			与えられた情報を受け取り, 課題をこなすだけでなく, 積極的に参加することに心がけましょう。それによって学校生活を一層楽しく充実したものにすることが可能となります。10分を超える遅刻は欠席とする。

ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目 1	目標を持ち主体的に生きる学習・生活態度を確立している		目標を持ち主体的に生きる学習・生活態度を確立する意識が十分にある		目標を持ち主体的に生きる学習・生活態度を確立する意識がある		目標を持ち主体的に生きる学習・生活態度を確立する意識がない
評価項目 2	集団の中での個人の在り方を主体的に考え、学校行事や学生会活動の意義を理解し、積極的に参画している		集団の中での個人の在り方を主体的に考え、学校行事や学生会活動の意義を理解し、十分に参画している		集団の中での個人の在り方を主体的に考え、学校行事や学生会活動の意義を理解し、参画している		集団を単位とした学校行事や学生会活動に参画する意識が乏しい
評価項目 3	コミュニケーション、合意形成、課題発見の各能力及び倫理観の獲得に一定の成果が見られる		コミュニケーション、合意形成、課題発見の各能力及び倫理観の獲得に十分に努力している		コミュニケーション、合意形成、課題発見の各能力及び倫理観の獲得に努力している		コミュニケーション、合意形成、課題発見の各能力及び倫理観の獲得意識が乏しい
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	ホームルーム活動、学校行事、学生会活動の結果を総合して行い、「合」、「否」で判定する。						100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0